

開講年次・時期	2年後期	授業回数	15回	時間数	30時間	必修・選択	選択	授業形態	講義	単位数	2単位
---------	------	------	-----	-----	------	-------	----	------	----	-----	-----

科目コード	NK230	科目名	幼児理解の理論と方法 (カウンセリングを含む)	担当者名	高橋 多恵子
授業の概要	幼児理解の意義と重要性を理解し、保育実践と結び付けて考察する力を身につける。また、幼児の発達や学び及びその過程で生じるつまずき、その要因を把握するための原理や対応の方法について、個と集団の関係や家庭の連携を含めて考える力を身につける。				
科目の到達目標	(1) 幼児理解についての知識を身につけ、考え方及び基礎的態度を理解する。 (2) 幼児理解の方法を具体的に理解する。 (3) 教育相談を進める際に必要な基礎的知識(カウンセリングに関する基礎的事柄を含む)を理解する。				
DPの観点	①聴く力(20)⑥専門知識・技能(30)⑧実践力(30)⑩問題解決力(20)				
授業時間外学修 (予習・復習)	毎回の授業内容について、該当するテキストの箇所、配布資料の通読及び課題作成を30分～1時間程度行う。				
フィードバックの方法	提出課題について、添削・講評を加えて返却する				
単位認定の要件	確認テストおよび演習形式の活動への取り組み、レポートでは自らの実践と学びを結びつけることができているかを評価し、総合評価が定められた基準に達していることが単位認定の条件である。				
評価の方法・割合 (%)	課題への取り組みと内容(50%)、確認テスト(50%)				
履修上の注意事項					

回数	予定	実施	テーマ・内容	観点	方法
1			オリエンテーション:子どもを「知る」・自分を「知る」	⑥⑩	
2			保育における「子ども理解」	⑥⑩	ミニッツペーパー
3			子ども理解の基盤としての「カウンセリングマインド」	①⑥⑩	ミニッツペーパー
4			子どもの発達理解	⑥⑧	ミニッツペーパー
5			保育における理解と援助①(3歳児前半)	⑥⑧⑩	ミニッツペーパー
6			保育における理解と援助②(3歳児後半)	⑥⑧⑩	ミニッツペーパー
7			保育における理解と援助③(4歳児)	⑥⑧⑩	ミニッツペーパー
8			保育における理解と援助④(5歳児)	⑥⑧⑩	ミニッツペーパー
9			理解から生まれる「ねらい」と「援助」	⑥⑧	ミニッツペーパー
10			保育カンファレンス	①⑧⑩	ミニッツペーパー
11			集団における経験と育ち	⑧⑩	ミニッツペーパー
12			特別な配慮が必要な子どもの保育から考える①(多様なニーズに応える)	⑧⑩	ミニッツペーパー
13			特別な配慮が必要な子どもの保育から考える②(発達の状態に応じた援助)	⑧⑩	ミニッツペーパー
14			子どもの行為を「読み取る」ことの大切さ	⑥⑧	ミニッツペーパー
15			まとめ	①⑥⑧⑩	ミニッツペーパー
期末試験					

使用テキスト	子どもの理解と援助演習ブック
参考文献 参考URL	子どもを「人間としてみる」ということー子どもとともにある保育の原点ー(ミネルヴァ書房)
備考	進行状況により、授業のテーマ・内容は変更になる場合がある。

DPの観点	①聴く力②表現力③柔軟性④協調性⑤社会性⑥専門知識・技能⑦思考力⑧実践力⑨主体性⑩問題解決力
-------	--

授業の自己評価	
---------	--